



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2019年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 村上伸也 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】

秋季学術大会関連のご案内 認定資格申請のお知らせ 臨修研修会・市民公開講座開催報告
各賞・助成等の選考結果と募集 「若手研究者の集い」開催報告

JSP から IADR PRG へ 御礼と決意



常任理事 高柴正悟

去る 2018 年 12 月 14 日の深夜に、国際歯科研究学会 (IADR) の事務局から IADR Periodontal Research Group Vice President の選挙結果を知らせる電子メールが届きました。日本歯周病学会会員の皆様のおかげをもちまして、私が 2019-2020 の Vice President に選出されました。実際に拝命するのは、2019 IADR/AADR/CADR General Session in Vancouver (2019 年 6 月 19~22 日) 後のことです。改めて感謝いたします。

そもそも Periodontal Research Group (PRG) とは何かを、再度調べてみました。来年に 100 周年を迎える IADR は 1920 年に創設されました。そのなかに、Dental Material Group が 1939 年に Scientific Re-

search Group として設置され、1965 年に Craniofacial Biology Group が、そして 1969 年に私たちの PRG が設置されました。したがって、IADR に現在ある 24 の Group のなかで 3 番目に設置された歴史ある Group なのです (そして、今年は 80 周年!)。なお、これまでの Scientific Research Group を越えた組織として、8 つの Network も構成されています。

PRG の website 内を見ると、Past President が 1998-1999 から 20 代ほど掲示されています。JSP の皆様もよくご存じの方々ですが、特に岡田 宏先生と村上伸也先生のお名前を見いだせます。JSP 理事長の村上先生は、PRG はもちろん、Journal of Periodontal Research の Chief-Editor としてもご活躍されています。こうした歴史のなかで、IADR の website にある PRG には、9 種類の役職と研究者が掲示されています。重複して役目を担っている方もいますが、これらの方々が IADR 本部と連携して、PRG を運営しています。現在の President は、Boston の Forsyth Institute の Dr. Hatice Hasturk です。Vice から Elect へ、そして President へと仕事が変わるのだと村上先生には説明を受けました。今後は種々の教育を受けながら大きな役目を担えるようになっていきますので、変わらぬご支援とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

このたび、第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会を 2019 年 10 月 25 日（金）、26 日（土）の 2 日間にわたり北九州市の西日本総合展示場・北九州国際会議場で開催させていただきます。北九州市小倉での開催は、横田 誠先生（九州歯科大学名誉教授）が大会長を務めた第 38 回秋季学術大会（1995 年 10 月）以来、24 年ぶりとなります。1963 年に門司市、小倉市、戸畑市、八幡市および若松市の 5 市が合併して政令指定都市として誕生した北九州市の人口は合併直後 105 万人だったのですが、現在は 95 万人に減少し、高齢化率は急激な高齢化により政令指定都市中でも最も高い 30% となっています。

最近、LIFE SHIFT（リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著）という書籍を読みました。これまで、多くの人が特に意識せずに 80 歳程度の平均寿命を前提に【教育】【仕事】【引退】の 3 段階から構成される人生を送るものだと考えてきたと思います。しかし、そう遠くない将来に訪れる「寿命 100 年時代」では、これまでと同じような人生設計は成り立たなくなりそうです。本書は社会的・経済学的視点からこれからの人生設計について書いています。そこでは加齢による身体能力の低下は考慮されていますが、病気に関しては一切考慮されていません。このような経緯から、第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会では「寿命 100 年時代を見据えた歯周病治療」をテーマに、短期的に求められる高齢歯周病患者への安心・安全な対応と中長期的に求められる将来の歯周病治療について考えてみようと思います。

学会 1 日目の特別講演は九州大学の自見英治郎教授による「骨吸収の分子機構の解明と歯周病治療への展開」と題した講演、2 日目はイエテボリ大学の Dr. Cristiano Tomasi による「Preserving teeth : is it still an option?」と題した講演を予定しております。また、学会 1 日目の教育講演は群馬県開業の大野純一先生による「現代の超音波スケーラー どこまで可能でどう用いていくか?」と題した講演、学会 2 日目は新理事長である村上伸也教授による「歯周病の新分類について」と題した講演を予定しております。さらに、本大会における初の試みとして、ハンズオンセミナーを計画しました。会場・機材の制限から、事前登録制で有料のセミナー（定員 20 名程度）となる予定です。詳細

が決まり次第、学術大会ホームページにてお知らせしますので、奮って応募していただければと思います。

大会が開催されます 10 月下旬は気候が良く、関門海峡を隔てた下関で有名なふぐ料理も味わえる季節となります。全国から、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会 大会長
九州歯科大学歯周病学分野
中島啓介

1. 会期

2019 年 10 月 24 日（木）、25 日（金）、26 日（土）

2. 会場

西日本総合展示場
（福岡県北九州市小倉北区浅野 3 丁目 8-1）
北九州国際会議場
（福岡県北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9-30）

3. 担当

九州歯科大学歯周病学分野
大会長：中島啓介
プログラム委員長：小方頼昌
準備委員長：臼井通彦

4. テーマ

「寿命 100 年時代を見据えた歯周病治療」

5. プログラム概要

10 月 24 日（木）北九州国際会議場

認定医筆記試験、各種委員会、理事会、写真撮影、理事懇親会（リーガロイヤルホテル小倉）

10 月 25 日（金）西日本総合展示場・北九州国際会議場

総会・評議員会・表彰式、特別講演 I、教育講演 I、シンポジウム I・II、KAP 招待講演、一般演題発表（口演、ポスター）、歯科衛生士口演、SIYA 口演、ランチョンセミナー、ハンズオンセミナー I、企業展示

10 月 26 日（土）西日本総合展示場・北九州国際会議場

特別講演 II、教育講演 II、シンポジウム III、倫理委員会企画講演、歯科衛生士シンポジウム、認定医・専門医教育講演、歯科衛生士教育講演、一般演題発表（口演）、臨床（認定医・専門医）ポスター、歯科衛生士症例ポスター、ランチョンセミナー、スイーツセミナー、ハンズオンセミナー II、企業展示、市民公開講座

上記プログラム内容には変更が生じる可能性があります

ますので、プログラムの詳細は学術大会ホームページ <http://web.apollon.nta.co.jp/jspf62/> をご確認ください。

6. 参加登録費（事前参加登録および当日参加登録）

	事前参加登録	当日参加登録
正会員（歯科医師・医師ほか）	5,000 円	8,000 円
準会員（上記以外）	3,000 円	5,000 円
非会員（歯科医師・医師）	10,000 円	13,000 円
非会員（上記以外）	5,000 円	8,000 円
学生（歯学部・専門学校生）	当日登録のみ	1,000 円

事前参加登録期間

2019年6月3日（月）正午から

9月6日（金）正午まで

7. 一般演題（口演・ポスター発表）演題登録

学術大会ホームページよりご登録ください。

抄録作成については、ホームページ記載の執筆要項（5月初旬に公開予定）をご確認ください。

1) 演題発表資格

学術大会での発表は、1名1演題までです。筆頭演者（発表者）と発表における責任者は本学会会員に限ります。筆頭演者と発表における責任者が同一の場合、筆頭演者のみ本学会会員であれば結構です。

2) 演題および抄録登録期間

2019年6月3日（月）正午から

6月28日（金）正午まで

登録期間終了日は、アクセス集中によるエントリー遅延、不具合が起りやすいので、早めに登録をお済ませください（登録期間以降は、受付・オンライン修正・削除はできません）。

一般演題（口演・ポスター発表）の演題登録・発表方法に関する詳細は、学術大会ホームページで案内予定です。

演題登録時には登録サイトにて、留意事項を必ずご確認のうえ、ご応募くださいますようお願い申し上げます。留意事項を逸脱する行為、演題内容は発表をお断りすることがあります。

8. 一般演題の発表方法

口演発表の発表時間は、1演題8分以内、質疑応答2分です。PC（Windows Microsoft PowerPoint 2007以降）による発表とさせていただきます。アップル社製PC（Mac）をご使用の場合は、ご自身でPC・アダプターをお持ちください。

ポスター発表において“掲示用パネルのサイズは高さ210cm×幅120cm（従来の幅90cm）”となります。

詳細は、学術大会ホームページをご参照ください。

なお、臨床研究の場合は所属機関の倫理委員会の承認、症例報告の場合には患者の同意、発表内容に関して利益相反に関する内容を明記してください。

第62回秋季日本歯周病学会学術大会

準備委員長 白井通彦

（九州歯科大学 歯周病学分野）

第62回秋季日本歯周病学会学術大会運営事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4

大阪駅前第4ビル5階

（株）日本旅行 西日本 MICE 営業部

TEL：06-6342-0212 FAX：06-6342-0214

E-mail：jspf62@nta.co.jp

学術大会 HP：http://web.apollon.nta.co.jp/jspf62/

第62回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター （認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター（認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表の演題募集は、一般演題とは別になります。下記の要領でお申し込みいただくこととなりますが、受付は下記の学術大会ホームページのみからになりますのでご注意ください。

<http://web.apollon.nta.co.jp/jspf62/>（学会ホーム

ページ <http://www.perio.jp> から入れます）

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細はサイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリごとに必ずご確認ください。なおオンラインでの申し込みが不可能な方は、第62回秋季日本歯周病学会学術大会運営事務局（株）日本旅行 西日本 MICE 営業部）までお問い合わせください。

1. 演題発表資格

いずれの 카테고리とも、筆頭発表者が学会認定資格（認定医・歯周病専門医あるいは認定歯科衛生士）を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限ります。また、本学術大会における筆頭発表は1名1演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

2019年6月3日（月）正午より

2019年6月28日（金）正午まで（締切厳守）

※登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいため、それ以前の早めの時期に登録をお済ませください。

演題申し込み時には登録サイトにて、留意事項を必ずご確認のうえで応募くださいますようお願い申し上げます。留意事項を逸脱する行為および演題内容については発表をお断りすることがあります。特に「国内未承認薬・材料・機器の使用」「適応外使用」「未承認治療法」に係る症例は臨床ポスターとしての発表は不可です。また臨床研究発表では所属機関の倫理委員会等の承認、症例報告の場合は患者の同意を得ていることをポスターに明記する必要がありますので、ご注意ください。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます（専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位）。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmといたします。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項は学術大会ホームページにてご確認ください。

演題番号の個所や顔写真の掲示場所、承認や同意の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。なお、演題登録後における抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。ただし、なんらかの事情で発表ができなくなった場合は運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

認定医・専門医優秀臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いただいたすべての発表が選考対象となります（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外）。なお、臨床ポスター賞・ベストハイジニスト賞では第62回春季日本歯周病学会学術大会より事前審査が導入されました。詳細は学術大会ホームページの演題登録画面よりご確認ください（事前審査提出締切：臨床ポスター賞2019年9月6日（金）、ベストハイジニスト賞2019年10月4日（金））。受賞発表および表彰は次回学術大会（第63回春季日本歯周病学会学術大会）にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管にご協力願います。

専門医委員会委員長 吉成伸夫

認定医委員会委員長 山本松男

歯科衛生士関連委員会委員長 坂上竜資

認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 認定歯科衛生士申請（第29回認定歯科衛生士認定審査）および更新
2019年5月27日（月）：受付開始

- 2019年6月14日（金）：締め切り（消印有効）
- 2019年7月頃：申請および更新に関する書類審査会開催
- 2019年9月頃：（申請者のみ）ケースプレゼンテーション
- 2019年10月24日（木）：申請・更新合格者を理事会で承認
- 2019年10月25日（金）：第62回秋季学術大会（福岡）時に合格発表

- 2019年12月：認定歯科衛生士認定証発行
2. 専門医・指導医申請（第61回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新
- 2019年6月17日（月）：受付開始
- 2019年7月5日（金）：締め切り（消印有効）
- 2019年7月頃：申請および更新に関する書類審査会開催
- 2019年9月頃：（専門医申請者のみ）専門医認定試験（ケースプレゼンテーションと口頭試問）開催
- 2019年10月24日（木）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認
- 2019年10月25日（金）：第62回秋季学術大会（福岡）時に合格発表
- 2019年12月：専門医・指導医認定証発行
3. 認定医申請（第22回認定医認定審査）および更新
- 2019年7月8日（月）：受付開始
- 2019年7月26日（金）：締め切り（消印有効）
- 2019年8月頃：申請および更新に関する書類審査会開催
- 2019年10月24日（木）：（申請者のみ）筆記試験会場：北九州国際会議場
- 申請・更新合格者を理事会で承認
- 2019年10月25日（金）：第62回秋季学術大会（福岡）時に合格発表
- 2019年12月：認定医認定証発行

⇒平成30（2018）年1月1日より、新規認定医申請の際に、本学会が行う倫理に関する講演の受講（1回以上）が義務付けられました。

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。なお、規則・細則は改訂されることがありますので、ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医を養成する歯科医療機関を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は2019年6月17日（月）～7月5日（金）（消印有効）です。申請・更新手続きについては、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行ってください。

認定医、専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は2019年6月17日（月）～7月5日（金）です。手続きの方法等を学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行ってください。2019年8月末頃までに専門医委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

学術賞・研究助成・地域活動賞・若手研修会の集いのご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

- 申請期間：2019年4月22日～6月14日（1～3）、
2019年3月1日～5月31日 ※消印有効（4）
- 申請書類提出用ユーザー名：JSP-2019（1～3）
- 申請方法：ホームページからの申請（1～3）、郵送（4）

1. 第19回日本歯周病学会学術賞（2019年度）
本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れ

た業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（学術賞盾）のほかに副賞20万円と盾（LION Award）が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_science/

2. シーズ育成若手奨励研究助成（2019年度）

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手症例研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_seeds/

3. 企画調査研究助成（2020-21年度）

本会では、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながる多施設研究を推進することを目的として、企画調査研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

※2018年度より研究助成期間が2年間となりました。次回の募集は2021年4月（2022-23年度実施分）となります。

http://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_project/

4. 地域活動賞（2019年度）

日本歯周病学会地域活動賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的として2018年度に創設されました。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<http://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>

5. 「若手研究者の集い」合宿研修会

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。秋季学術大会に合わせて開催される講演会と懇親会を含む1泊2日の合宿形式のイベントです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

歯科衛生士教育講演・臨床研修会のご案内

1. 歯科衛生士教育講演

今年度は青森県・香川県（日時・会場はともに調整中）での開催を予定しております。詳細はホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

2. 臨床研修会

今年度は滋賀県（2020年2月2日（日））での開催を予定しております。詳細はホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

日本歯周病学会第1回佐賀地区（第9回九州地区）臨床研修会・市民公開講座開催報告

平成31年2月9日（土）～10日（日）に、第1回佐賀地区（第9回九州地区）臨床研修会・市民公開講座を佐賀市・佐賀勤労者総合福祉センターならびに佐賀県歯科医師会館にて開催いたしました。佐賀県歯科医師会との共催により、「歯周病予防からはじめる健康長寿」をテーマとして、9日（土）は市民公開講座、10日（日）は2つの基調講演、3つの特別講演、歯科衛生士教育講演と多岐にわたるプログラムで行われました。多くの会員外参加者が集まった結果、参加者総数

は135名、市民公開講座94名となり、無事に挙行されたことをご報告させていただきます。

ご参加の皆様、佐賀県歯科医師会関係者の皆様、ご協賛いただいた企業各社様および関係各所に改めて御礼申し上げます。

2019年度は、全国各地で計2回の臨床研修会開催を計画しておりますので、詳細は決定次第、ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

各賞・助成選考結果

シーズ育成若手奨励研究助成 (2019年度)

沢田啓吾

(大阪大学大学院歯学研究科
口腔分子免疫制御学講座(口
腔治療学教室))

「歯周組織再生における
IGFBPファミリー分子の役
割解析」



企画調査研究助成 (2019-20年度)

両角俊哉

(神奈川歯科大学大学院歯学
研究科口腔統合医療学講座歯
周病学分野)

「スケーリング後菌血症に対
する高齢者生体応答の解析と
光治療による予防法の確立
～パイロット研究～」



第18回学術賞 (2018年度)

青山典生

(神奈川歯科大学大学院歯学
研究科口腔統合医療学講座歯
周病学分野)

「歯周病と循環器疾患の関連
解明を目指す基礎的および臨
床的解析」



白方良典

(鹿児島大学大学院医歯学総
合研究科歯周病学分野)

「生体材料と生理活性物質を
応用した *In situ* 歯周組織再
生アプローチに関する研究」



第15回会誌賞 (2017年度)

基礎分野 「LPS 刺激下ヒト歯
肉線維芽細胞に対する α -リポ
酸事前添加による炎症性サイト
カイン産生抑制効果の検討」

59 巻 (1) : 28-38, 2017

石井マイケル大宜, 村櫻悦子,
五十嵐(武内)寛子, 荘司洋文,
沼部幸博

筆頭著者所属: 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講
座



臨床分野 「糖代謝異常を有す
る切迫早産妊婦の絨毛膜組織で
の歯周病原細菌の検出」 59 巻
(3) : 133-143, 2017

中村 梢, 中村利明, 上塘正人,
立石ふみ, 橋口千琴, 川俣和弥,
波多江正紀, 野口和行

筆頭著者所属: 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
歯周病学分野/鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
口腔先端科学教育研究センター



優秀臨床ポスター賞 (第61回春季学術大会)

最優秀賞ポスター賞

松本ゆみ

(岡山・グリーン歯科クリニッ
ク)

「1型糖尿病を有する広汎型
侵襲性歯周炎患者に対して包
括的歯周治療を行った10年
経過症例」



優秀賞ポスター賞

山田 潔

(東京・山田歯科成瀬クリニック)
「早期歯周外科治療により改善した限局型侵襲性歯周炎—11年経過症例—」



2018年度功労賞

受賞賛助会員は以下のとおりです。

有限会社エルバ
株式会社松風

ベストハイジニスト賞 (第61回春季学術大会)

秋本由香利

(東京都立心身障害者口腔保健センター)
「43年間歯科治療歴のない結節性硬化症患者の歯周治療経験」



第5回「若手研究者の集い」合宿研修会開催報告

平成30年10月26日、第61回秋季日本歯周病学会学術大会において、学会あり方委員会主催による第5回「若手研究者の集い」合宿研修会が、学会場であるリーガロイヤルホテル大阪 タワーウィングにて開催されました。

この合宿研修会は、若手研究者間の交流促進とリサーチマインドの活性化を目的として秋の学会時に開催されるものです。昨年度までは、1泊2日でホテルや旅館(温泉)での開催でしたが、今年度は会場が大阪で近隣で開催地を見つけるのが難しかったこと、またアメリカ歯周病学会(AAP)と重なってしまったこともあり、やむなく宿泊なしでの開催となりました。そのため、参加費を安くし募集人数も増やしましたが、参加者は例年とほぼ同じ32名でした。

AAPと重なったこともあり、今回も特別講演はありませんでしたが、片桐さやか先生(東京医科歯科大学)、前園葉月先生(大阪大学)、相澤 怜先生(昭和大学)の3人の先生方から留学経験についてご紹介いただきました。片桐先生はアメリカ、ハーバード大学医学部ジョスリン糖尿病センター、前園先生はカナダ、ブリティッシュコロンビア大学、相澤先生はスイス、ベルン大学への留学体験を、研究室の様子、現地での



生活の様子など、さまざまな角度からお話ししていただきました。参加者にとって3人の先生のパワフルで楽しい体験談は、今後の進路や研究生活を考えるうえで大いに参考になったと思います。

先生方のお話を聞いているとあっという間に2時間が過ぎてしまい、お開きとなりました。着席スタイルの会だったこともあり席の移動もしにくく、他大学の同世代の先生方との交流を楽しみに参加された先生方にとっては、少々物足りなかったかもしれません。

アンケートではおおむね好評でしたが、もっといろいろな大学の人と話をしたかったとの意見もあり、次回の北九州での学会では今までどおりの宿泊つきの研

研究会を企画しています。この会は若手研究者の交流の場でもあり、普段出会うことのない先生方と気軽に話せる場となっています。他大の研究室を知る良い機会であり、委員の先生方も交え、研究に関するだけでなく、診療のこと、将来設計のことなど何でも話せます。ご自身の研究のヒントとなるような情報やアドバイスを得ることができるかもしれません。ぜひ、多くの若手の研究者に参加していただきたいと思いま

す。

最後に、本研修会の企画・開催にあたりましてご協力いただきました、学会のあり方委員会委員長の山本松男先生、講演者の先生方、ワーキンググループの先生方に感謝を申し上げます。

第5回「若手研究者の集い」合宿研修会

ワーキンググループ幹事 昭和大学 須田玲子

日本歯周病学会会誌のご案内

前回の Newsletter 以降、日本歯周病学会会誌に掲載されました論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は2015年よりオンライン化され、J-STAGEで閲覧できます。また、発刊に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。

日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/perio/-char/ja>

日本歯周病学会会誌 Vol. 60 (2018) No. 3

総説

「細胞骨格制御分子を標的とした新規歯周治療法の開発に関する基礎的研究」

讚井彰一

「歯周炎歯肉組織局所の細胞外マトリックス代謝調節遺伝子発現解析と全身疾患との関連解明」

久保田健彦

ミニレビュー

「掌蹠膿疱症と歯周治療」

村井 治, 須和部京介, 大川義人, 佐々木大輔,

八重柏 隆

原著

「乳酸菌生成エキスが歯周病に及ぼす影響について」

吉峰正彌, 鴨井久博, 米倉圭介, 貴家康尋, 鴨井久一
トピック紹介

「歯周病はアルツハイマー病を悪化させる」

石田直之, 吉成伸夫, 松下健二, 石原裕一

訂正

お詫びと訂正

日本歯周病学会会誌 Vol. 60 (2018) No. 4

ミニレビュー

「咬合力の測定方法とその大きさに影響を与える因子」

中村太志, 守下昌輝, 臼井通彦, 中島啓介

「歯周治療と口腔関連 QOL」

大井麻子, 齋藤 淳

「マクロファージを通して見る歯周病の基礎研究」

西原達次

原著

「歯周疾患治療用歯磨剤アセス®の歯周病患者に対する臨床パラメーターの改善効果と細菌学的評価：ランダム化非盲検比較試験」

白川 哲, 松島友二, 早田優樹, 中野瑤子, 仲田桃子,

中川朋人, 永島百合, 二階堂雅彦, 五味一博

「歯周病の罹患状態を反映するアンケート調査法の検討」

杉原俊太郎, 青山典生, 和泉雄一, 三辺正人

症例報告

「歯周基本治療により改善した広汎型重度慢性歯周炎の1症例」

高橋佳奈, 藤本 梓, 藤本 淳

ポジション・ペーパー

「歯周治療における禁煙支援の手順書」

稲垣幸司, 内藤 徹, 石原裕一, 金子高士, 中山洋平,

山本龍生, 吉成伸夫, 森田 学, 栗原英見

JACP/JSP ポスターセッション抄録集

役員名簿

日本歯周病学会役員（平成31（2019）年4月1日～2021年3月31日）

理事長 村上伸也
 副理事長 五味一博
 常任理事 小方頼昌 河口浩之 齋藤 淳 坂上竜資 佐藤秀一 佐藤 聡 申 基 詰
 高柴正悟 高橋慶壮 西村英紀 沼部幸博 東 克章 古市保志 三谷章雄
 森田 学 山崎和久 山田 聡 山本松男 湯本浩通 吉成伸夫 吉村篤利
 前理事長 栗原英見 監 事 新井 高 永田俊彦
 庶務担当 齋藤 淳 (幹事 富田幸代) 会計担当 小方頼昌 (幹事 竹立匡秀)

名誉会員 安孫子宜光 雨宮 璋 新井 高 池田雅彦 石川 烈 伊集院直邦 和泉雄一
 伊藤公一 伊東隆利 岩本義史 上田雅俊 上野和之 太田紀雄 大塚吉兵衛
 岡田 宏 岡本 莫 岡本 浩 奥田克爾 加藤 熙 亀山洋一郎 嶋井久一
 栢 豪洋 川崎 仁 川瀬俊夫 川浪雅光 齋藤和子 齋藤 滋 零石 聰
 下野正基 末田 武 滝口 久 田中昭男 谷口威夫 角田正健 出口眞二
 永田俊彦 中村治郎 二階宏昌 西原達次 野口俊英 野村慶雄 原 宜興
 船越栄次 堀内 博 前田勝正 見明 清 宮下 元 宮田 隆 村井正大
 村山洋二 矢嶋俊彦 山田 了 横田 誠 吉江弘正 渡邊達夫
 Alice DeForest Gregory J. Seymour Martin A. Taubman Pierre C. Baehni
 Thomas E. Van Dyke

評 議 員 □理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科 東京歯科大学 ○児玉利朗(横浜クリニック, 教)
 菅谷 勉(歯周・歯内, 准) ◎齋藤 淳(歯周病学, 教) 田村利之(歯周病, 教)
 田中佐織(大学病院, 講) 富田幸代(歯周病学, 准) 浜田信城(微生物, 教)
 北海道医療大学歯学部 ◎石原和幸(微生物, 教) 小牧基浩(横浜クリニック, 准)
 ◎◎古市保志(歯周・歯内, 教) 伊藤太一(口腔インプラント学, 准) 鎌田要平(横浜クリニック, 講)
 加藤幸紀(歯周・歯内, 講) 日本歯科大学生命歯学部 鶴見大学歯学部
 ○長澤敏行(臨床教育管理運営, 教) ◎◎沼部幸博(歯周病, 教) ●◎五味一博(歯周病学, 教)
 森 真理(大学病院, 講) 伊藤 弘(歯周病, 准) 長野孝俊(歯周病学, 准)
 岩手医科大学歯学部 関野 愉(歯周病, 准) 白川 哲(歯周病学, 講)
 ○八重柏 隆(歯周療法学, 教) ○仲谷 寛(総合診療, 教) 渡辺孝章(短期大学部, 教)
 村井 治(歯周療法学, 助教) 大澤銀子(総合診療, 准) 小林一行(短期大学部, 准)
 東北大学大学院歯学研究科 小川智久(総合診療, 准) 北村景子(附属病院, 衛)
 ◎◎山田 聡(歯内・歯周, 教) 日本歯科大学新潟生命歯学部 松本歯科大学
 根本英二(歯内・歯周, 准) ◎◎佐藤 聡(歯周病, 教) ○◎吉成伸夫(保存(歯周), 教)
 奥羽大学歯学部 両角祐子(歯周病, 准) ○石原裕一(保存(歯内), 教)
 ◎◎高橋慶壮(歯周病学, 教) 大森みさき(総合診療科, 准) 宇田川信之(口腔生化学, 教)
 大島光宏(薬学部, 教) 高塩智子(総合診療科, 講) 音琴 淳一(健康増進口腔科学, 教)
 新潟大学大学院医歯学総合研究科 葛城啓彰(微生物, 教) 國松和司(特任教)
 多部田康一(歯周診断・再建学, 教) 日本大学歯学部 田口 明(歯科放射線学, 教)
 奥田 一博(歯周診断・再建学, 准) ◎◎佐藤秀一(歯周病, 教) 西窪結香(大学病院, 衛)
 久保田健彦(歯周診断・再建学, 講) 菅野直之(歯周病, 准) 朝日大学歯学部
 ◎◎山崎和久(口腔生命福祉学, 教) 吉沼直人(歯周病, 准) ○◎洪谷俊昭(歯周病, 教)
 川瀬知之(移植・再生学, 准) 西田哲也(歯周病, 講) 北後光信(歯周病, 准)
 小林哲夫(総合病院, 准) 今井健一(細菌, 教) 合田征司(歯周病, 講)
 杉田典子(総合病院, 講) 日本大学松戸歯学部 安田忠司(歯周病, 講)
 明海大学歯学部 ◎◎小方頼昌(歯周治療, 教) 友藤孝明(社会口腔保健学, 教)
 ○◎申 基 詰(歯周病学, 教) 高井英樹(歯周治療, 講) 荒木美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)
 辰巳順一(歯周病学, 准) 中山洋平(歯周治療, 講) 愛知学院大学歯学部
 林 丈一朗(歯周病学, 准) 落合智子(口腔免疫, 教) ◎◎三谷章雄(歯周病学, 教)
 ○荒木久生(総合臨床歯科学, 教) 中村悦子(歯科衛生専門学校, 衛) 菊池 毅(歯周病学, 准)
 東京医科歯科大学 昭和大学歯学部 ◎◎山本松男(歯周病, 教) 林 潤一郎(歯周病学, 講)
 岩田隆紀(歯周病学, 教) ◎◎山本松男(歯周病, 教) 須田玲子(歯周病, 准) 菱川敏光(歯周病学, 講)
 竹内康雄(歯周病学, 講) 須田玲子(歯周病, 准) 滝口 尚(歯周病, 講) ○福田光男(特殊診療科, 教)
 秋月達也(歯周病学, 講) 滝口 尚(歯周病, 講) 落合智子(口腔免疫, 教) 稲垣幸司(短期大学部, 教)
 青木 章(歯周光線治療学, 教) 神奈川歯科大学 長谷川義明(微生物学, 教)
 ○木下 淳博(教育メディア開発学, 教) ◎◎三辺正人(歯周病, 教) 大阪歯科大学
 ○荒川真一(生涯口腔保健衛生学, 教) 青山典生(歯周病, 准) ○◎梅田 誠(歯周病学, 教)
 新田 浩(歯科総合診療部, 教) 両角俊哉(歯周病, 准) 田口洋一郎(歯周病学, 准)
 小田 茂(歯科総合診療部, 准) 菅谷 彰(歯学教育, 教) 前田博史(口腔治療学, 教)

大阪大学大学院歯学研究科

- 村上伸也(口腔治療, 教)
- 北村正博(口腔治療, 准)
- 野崎剛徳(附属病院, 准)

徳島大学歯学部

- ◎○湯本浩通(歯周歯内, 教)
- 木戸淳一(歯周歯内, 准)
- 成石浩司(歯周病科, 講)
- 稲垣裕司(歯周病科, 講)
- 尾崎和美(口腔保健支援学, 教)
- 伊藤博夫(予防歯学, 教)

広島大学歯学部

- 栗原英見(歯周病態学, 教)
 - 藤田剛(歯周病態学, 准)
 - 水野智仁(歯周病態学, 講)
 - ◎○河口浩之(大学病院, 教)
- 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
- ◎○高柴正悟(歯周病態学, 教)
 - ◎○森田学(予防歯科学, 教)
 - 山本直史(大学病院, 講)

大森一弘(大学病院, 講)
九州歯科大学

- 中島啓介(歯周病, 教)
- 白井通彦(歯周病, 准)
- 村岡宏祐(クリニカルレクチャー開発, 講)
- 溝部潤子(口腔機能支援, 衛)
- 高橋由希子(連携教育ユニット, 衛)

九州大学大学院歯学研究科

- ◎○西村英紀(歯周病学, 教)
- 讚井彰一(大学病院, 講)

福岡歯科大学

- ◎○坂上竜資(歯周病, 教)
- 吉永泰周(歯周病, 准)
- 永井淳(地域連携センター, 教)
- 金子高士(口腔医療センター, 教)
- 米田雅裕(総合歯科学, 教)

鹿児島大学大学院歯学総合研究科

- ◎○野口和行(歯周病学, 教)
- 白方良典(歯周病学, 准)
- 中村利明(大学病院, 講)

長崎大学歯学部

- ◎○吉村篤利(歯周病学, 教)
- 鷗飼孝(医療教育開発センター, 准)

慶應義塾大学

- 中川種昭(歯科・口腔外科, 教)
- 森川 暁(歯科・口腔外科, 講)

神戸常盤大学短期大学部

- 柳田学(口腔保健学科, 教)

静岡県立大学短期大学部

- 吉田直樹(歯科衛生学科, 准)

太成学院大学

- 大浦清(看護学部, 教)

東京歯科大学短期大学

- 杉戸博記(歯科衛生学科, 教)

日本医科大学

- 鴨井久博(歯科, 教)

日本歯科大学東京短期大学

- 野村正子(歯科衛生科, 衛)

九州看護福祉大学

- 金子憲章(口腔保健学科, 教)

一般関係(五十音順)

- 赤堀康(愛知県)
- 浅原洋士(徳島県)
- 新井英雄(岡山県)
- 有田博一(東京都)
- 飯野文彦(東京都)
- 池田康男(静岡県)
- 池田頼宣(東京都)
- 石谷昇司(東京都)
- 市丸英二(佐賀県)
- 市村光(埼玉県)
- 伊藤正満(愛知県)
- 岩本義博(香川県)
- 内川宗敏(長野県)
- 内田剛也(神奈川県)
- 内田雄士(広島県)
- 梅村昌孝(愛知県)
- 江澤庸博(東京都)
- 遠藤憲行(岩手県)
- 大井麻子(埼玉県)
- 大石慶二(香川県)
- 大江丙午(岡山県)
- 大野友三(愛知県)
- 大八木孝昌(神奈川県)
- 岡部京平(京都府)
- 長田豊(長崎県)
- 片山明彦(東京都)

- 加藤義弘(北海道)
- 金子至(長野県)
- 鎌田征之(東京都)
- 上條博之(長野県)
- 亀井英彦(栃木県)
- 菊池重成(東京都)
- 北村秀和(東京都)
- 木村英隆(福岡県)
- 久保田浩三(福岡県)
- 熊谷敦史(岩手県)
- 黒柳隆穂(愛知県)
- 郷家英二(東京都)
- 香坂陽介(山口県)
- 河野寛二(奈良県)
- 後藤邦之(愛知県)
- 小林宏明(東京都)
- 佐瀬聡良(千葉県)
- 真岡淳之(滋賀県)
- 澤田弘一(岡山県)
- 汐見登(静岡県)
- 洪川義宏(北海道)
- 島袋善夫(大阪府)
- 清水宏康(東京都)
- 白木雅文(岐阜県)
- 杉田裕一(茨城県)
- 杉山貴志(神奈川県)

- 鈴木基之(東京都)
- 関野仁(東京都)
- 瀬戸口尚志(鹿児島県)
- 田井秀明(新潟県)
- 高島昭博(福岡県)
- 高橋潤一(東京都)
- 滝川雅之(岡山県)
- 竹内泰子(東京都)
- 田中繁寿(岐阜県)
- 田中秀樹(福岡県)
- 田中真喜(神奈川県)
- 谷真彦(長崎県)
- 谷芳子(長崎県)
- 谷口崇拓(長野県)
- 多保学(埼玉県)
- 土岡弘明(千葉県)
- 土井伸浩(広島県)
- 富井信之(新潟県)
- 中島貴子(新潟県)
- 長縄敬弘(愛知県)
- 二階堂雅彦(東京都)
- 西原旭彦(福岡県)
- 長谷川嘉昭(東京都)
- 濱地貴文(福岡県)
- ◎○東克章(熊本県)
- 平野治朗(神奈川県)

- 平野裕之(京都府)
- 廣瀬哲之(神奈川県)
- 藤川謙次(東京都)
- 藤本淳(岩手県)
- 保坂均(群馬県)
- 穂坂康朗(東京都)
- 町頭三保(鹿児島県)
- 松下健二(愛知県)
- 松山孝司(鹿児島県)
- 水上哲也(福岡県)
- 峯柴淳二(岡山県)
- 宮尾益佳(新潟県)
- 村上恵子(東京都)
- 村田雅史(新潟県)
- 村橋慶宣(大阪府)
- 茂木信道(神奈川県)
- 茂木美保(東京都)
- 梁川輝行(岩手県)
- 山下素史(福岡県)
- 吉田茂(福岡県)
- 吉永英司(東京都)
- 吉野敏明(神奈川県)
- 若林健史(東京都)
- 渡辺和志(埼玉県)
- 渡辺久(神奈川県)

賛助会員

医歯薬出版(株)
(株)エイ・アイ・シー
エビス(株)
(有)エルバ
長田電機工業(株)
(株)ガイドデント
花王(株)
科研製薬(株)
クインテッセンス出版(株)
グラクソ・スミスクライン・コン
シューマー・ヘルスケア・ジャパン
(株)
合同酒精(株)
小林製薬(株)
佐藤製薬(株)

サンスター(株)
サンデンタル(株)
三宝製薬(株)
(株)ジーシー
(株)松風
昭和薬品化工(株)
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
ジンマー・バイオメット・デンタル
(株)
ストローマン・ジャパン(株)
タカラベルモント(株)
デンタルプロ(株)
デンツプライシロナ(株)
(株)トクヤマデンタル
(株)ニッシン

日本歯科薬品(株)
白水貿易(株)
(株)白鵬
ビューフレディ・ジャパン合同会社
(株)フィリップス・ジャパン
ブランネットワークス(株)
プロクター・アンド・ギャンブル・
ジャパン(株)
三井住友トラストクラブ(株)
(株)モリタ
(株)ヨシダ
ライオン(株)
ライオン歯科材(株)
(株)ワイディエム

(五十音順)

日本歯科医学会役員（平成 31（2019）年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

理 事 村上伸也
評 議 員 五味一博 高柴正悟 山崎和久
予備評議員 小方頼昌 齋藤 淳 沼部幸博

【お願い】 名称の変更・所属評議員の異動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

平成最後のニュースレター 2019 年 4 月号をお届けします。まずは、高柴正悟先生が IADR の PRG の Vice President に選出され、その決意が述べられています。日本歯周病学会が世界の歯科医学界において、そのプレゼンスを示したおめでたいことです。高柴先生におかれましては、今後、IADR との連携を密にし、本学会の発展にご尽力していただけるものと大いにエールを送りたいと存じます。

さらにニュースレターには、第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会の案内が掲載されています。久しぶりの北九州市小倉開催で、中島啓介大会長の下「寿命 100 年時代を見据えた歯周病治療」をテーマに中身の濃い内容で企画されています。その他、認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ、各賞受賞者紹介、各賞および奨学金助成募集の案内等々、多くの報告も掲載されています。ぜひご一読ください。

さて会員の皆さん、日本歯周病学会のホームページの左上の「天災による被害を受けられた皆様へ」のリンクで岡山大学病院が作成した「災害時における少量の水を利用した口腔清掃法」のビデオを誰でも見ることができるのをご存じですか？ 私は、半年前の広報委員会でホームページのお見舞いを掲載しておく期間の討議があったときに初めて知りました。このような、お見舞いの言葉だけでなく、国民に実際に有益な広報活動を行っていくことも学会として大切だと強く感じた次第です。

このニュースレターをお届けした翌月には横浜で春季学術大会（五味一博大会長）が開催されます。多数の会員の皆様が参加され、皆様にとって大会が有意義なものになることを祈念しております。最後に老婆心ながら、学会参加受付に会員証が必要となります。どうぞくれぐれもお忘れなきようご持参ください。

（広報委員会委員 新田 浩）